

2021年度 公益事業振興補助事業
(新型コロナ緊急支援 整備事業)

I 補助事業の概要

(1) 事業の目的

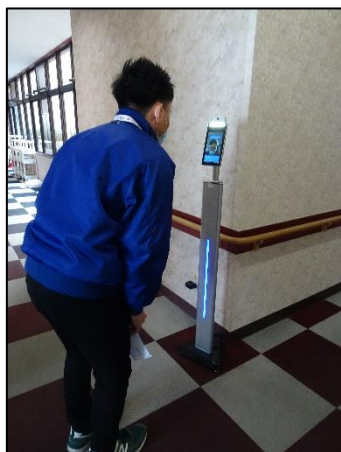
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、本会への相談者は急増しました。生活への不安、地域での福祉活動への不安など様々な相談が日々寄せられており、来所者が安心して相談できるように環境を整備することを目的としています。

(2) 実施内容

新型コロナウイルス感染症の感染予防

具体的には補助金を活用し、下記の物品を購入させて頂きました。

①サーマルカメラ



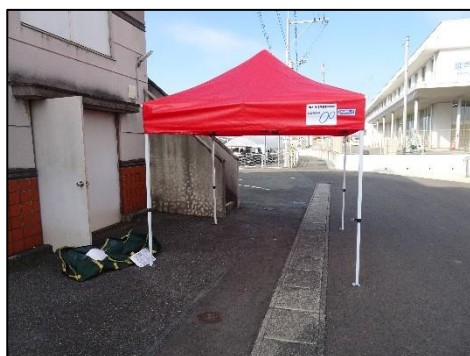
瀬戸内市総合福祉センター出入口と2階大会議室前に設置しました。
来所者への検温を円滑に行い、密を避けると共に、体調管理への意識付けを行いました。

②パルスオキシメーター



本会職員が利用者宅へ訪問する際に、利用者の万が一に備え、新型コロナウイルス感染症の重症化の目安となる血中酸素飽和度を測定できる当機器を導入しました。

③テント



新型コロナウイルス感染症の予防対策として、屋外でも検温できるようになりました。また、緊急的な隔離をする際にワンタッチ式を導入することで素早く対応することができ、感染リスクの軽減に効果的になりました。

2 予想される効果

この補助事業を実施したことにより、施設を訪れる方々の体温測定を自動で検知し、また簡易的に隔離できる環境を整えることで、より早い対応や感染者の侵入を未然に防ぐなどの対応をとることができます。また、本会が支援する利用者の異変の早期発見を行うことが可能となり、感染予防に繋げることができます。

今後、本会に相談したい方が今まで以上に安心して施設を利用できることが期待されます。ここに事業完了の報告を申し上げますとともに、公益財団法人 JKA をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで御礼申し上げます。